

令和4年度第3回印西市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時 令和4年11月29日(火)午後1時30分～午後2時45分
開催場所 印西市中央学校給食センター2階会議室
出席者 吉野高明 篠塚俊満 花安利章 秋谷有希
高濱久美子 大崎幸子 石丸佑香里 山本靖子
藤崎喜仁
事務局 教育長 大木 弘
教育部長 土屋 茂巳
学校給食課長 海老原 裕之
学校給食課施設管理係長 小池 賢一
学校給食課給食管理係主査補 吉田 武志
中央学校給食センター所長 齋藤 勝憲
中央学校給食センター業務班主任栄養士 鈴木 紀子
牧の原学校給食センター所長 渡邊 聡
印旛学校給食センター所長 須藤 聡

傍聴者 なし

付議事項 (要点筆記)

○開会

○会議の成立

進行者より本日の出席者数が9名中9名で、過半数の委員が出席しており、印西市学校給食センターの管理及び運営に関する規則第19条第2項の規定により、会議が成立していることを報告

○教育長あいさつ

○会長あいさつ

○議事

印西市学校給食センターの管理及び運営に関する規則第19条第1項の規定により、会長が会議の議長になるとしていることから、議事の進行を吉野会長に依頼する。

議長 それでは、会議次第に従い、議事を進めたいと思います。

前回から引き続きの議事の(1)今後の学校給食費の在り方について、事務局より説明をお願いします。

事務局 前回資料に基づき振り返りを行った後、議事(1)今後の学校給食費の在り方について説明

議長 では議事の(1)の1から3について順番に審議して参りたいと思います。まず、議事の(1)の1、第2回印西市学校給食センター運営委員会

において委員から示された主な意見について、何かご意見ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

委員 全国を見渡しても、全てが値上げで、私も買物によく行くようになり、物価高騰は身に染みて分かっております。学校給食の値上げも仕方ないと考えていて、保護者も仕方ないという感じがあるかと思っています。その一方で、国の新型コロナ地方創生臨時交付金を使って、給食費に対する補助を行う物価高騰対策支援プロジェクトが実施されておりますので、実際には上がらないほうが保護者には嬉しいことであり、どうしても必要な時には上げていくということにはなりますが、それからの判断ということができるのであればそれがいいと思いました。昨日テレビでは、印西市について子育てにやさしいまちとやっておりまして、上げないのであれば時間を見ながら、そんなに焦らないでいいのではないかと考えました。

議長 ありがとうございます。内容として2に関わるものですか。では、1の要約に関しては皆さんこれでよろしいですか。（異議なし）

では、2に関して〇〇委員から意見がありましたが、2の給食費の保護者負担の方向性について、他の委員の皆様からご意見はいかがですか。

委員 色々なものが値上がりし、給料はなかなか上がらないというのが日本の現状ではないかと思えます。

前回もお話しましたが、もう少し様子を見てもいいのではないかと。今回の色々な説明も交えて、また同じようにその方がいいのではないかとこの考えが強くなったところが本音です。

資料もとても分かりやすくまとめてあるので、本当にいつ上がってもいいと、ほとんどの家庭は言ってくれるとは思いますが、先ほどの資料の、自治体1793団体のうちの99%が実質負担増を行っていないということで、国の交付金が出ている間は上げる必要はない、上げるべきではないと思えます。ただ、3にも関わると思いますが、タイミングが重要になってくると思えます。

議長 ただいま〇〇委員、〇〇委員からは、昨今の急激な物価高騰の状況を踏まえて、保護者の経済的負担への配慮も必要な時期だろうということで、学校給食費の改定について、適切な時期に実施すべきではないかというご意見がありましたが、他の委員の皆様はいかがですか。

委員 私は前回値上げした方がいいのではないかと考えた一人ですが、本日の資料によると、令和2年以降の急激な物価高騰分ということで公費負担のところが大きな矢印で書いてあります。この公費負担というのは、先ほど

説明があった、コロナ対策の財源から支出しているということによろしいでしょうか。

そうすると、月単位でどれだけの公費負担になるのかなどを聞きたいです。値上げしないのであれば、この公費負担がずっと増えていきます。今はコロナ対策費で賄えますが、これはあくまでも暫定的な考えで、本来のあり方ではないと思います。

ですから、値上げを今すべきであり、コロナ対策費は別の事に使い、食べるものは自分のお金で食べ、値上げした方がいいのではないかという考えです。

議 長 ただいま〇〇委員からは、値上げについては、このタイミングというお話があった中で、例えば公費負担は月当たりどのくらいになるのか、ここで値上げしないと公費負担がまたどんどん増えるのではないかという懸念の声がありましたが、事務局から現時点でお答えできることはありますか。

事務局 急激な物価高騰に対する今後の公費負担ですが、11月から来年3月までの献立に反映するための予算の確保に向けて、11月の食品の消費者物価指数を106.4%と見込み、それ以降は0.5%ずつ上がり、最終的には来年3月で約108.4%まで上がると予測しました。これを金額に換算しますと、小学校は11月の時点で17円加算し食材を調達している状況です。つまり、現在の給食費が267円ですので、284円という金額を目安に食材を調達している状況です。

それ以降については、その消費者物価指数の見込みが0.5%ずつ上がっていくと見込み、最終的に来年3月の段階では、小学校は22円を加算し、金額にすると289円、その額を目安に食材を調達していくと考えております。

続いて中学校ですが、現在の給食費が297円ということで、同様に計算し、11月のスタート時が316円、最終的な来年3月の時点で321円となり、19円から24円を加算して、食材の調達に当たることとなります。

議 長 〇〇委員、今、事務局から回答がありましたけども、何かご意見等ありますか。

委 員 総額について、何千万というような単位で知りたかったのですが、よろしいです。

議 長 事務局からもありましたが、この議事の(1)の2のところはボリュー

ムが大きいと思います。前回、値上げ止むなしというようなご意見も出ましたが、時期を考えた方がいいのではないかとというようなご意見も出ております。そのところで、もう少し皆さんの議論やご意見いただければと思いますがいかがでしょうか。

委員 スクリレで公費負担のお知らせについて見ましたが、私は単純に、令和5年3月までは上がらないと思いましたが、そういう意味で出したのか、もっと前に改定していくのかが分かりませんでした。

このお手紙をいただいている保護者の方が、令和5年の4月から上がるという理解の基、その前に上がってしまうのはどうなのかと誤ってしまいます。

議長 今、〇〇委員から保護者目線のご意見をいただきましたが、事務局お願いします。

事務局 本日お配りさせていただいたスクリレの資料ですが、まずは、国の交付金を活用して急激な物価高騰対策を行っているということ、保護者の皆様にお知らせしたくお配りしたものです。資料の上の部分の色の付いているところ、特にピンクのところ。保護者の皆様の学校給食費、給食費負担額を増やすことなく、国の交付金を活用して、栄養バランスのとれたおいしい給食を提供するという趣旨です。後半部分、こちらは学校給食費の現状と今後についてとして、今の学校給食費の課題を引き続き検討していく旨のご案内になります。

このことから3月までの値上げというのは、これでは特にお示ししているものではございません。

委員 このお知らせをみたら4月から上がるのかと推測できてしまうのではないかと私は思いますが。

事務局 今回の件について補足させていただきます。スクリレで配付させていただいたこちらの資料は令和2年以降のコロナ禍以降の急激な物価高騰対策についてのお知らせで、今、議論しているのは、それ以前の物価高騰分ということになります。急激な物価高騰対策には当初、市で予算措置をしようしていましたが、国が交付金の対象にするということで、そこに速やかに手を挙げさせていただいて、結果的に、国からの交付金で対応することになったものです。先ほど〇〇委員からもございましたが、現在、来年度以降の事業継続に関する方向性は国から示されていません。

このことから少なくとも来年の3月までは、令和2年以降の急激な物価高騰分については、国の交付金を活用して対応して参りますとお知らせさ

せていただいたのがこちらの資料です。10月に令和5年度の予算要求を行っており、令和2年以降の急激な高騰分については、市が負担することも可能な予算要求をしています。

それが3月議会で可決されればという話になりますが、国がその交付金を無くしてしまったとしても、令和5年度中については、市で負担する方向で考えています。

混在しがちですが、令和2年までの間にも消費者物価指数が7.9%上がっているということも印西市の課題であるということを示しながら、令和5年度以降の学校給食費について検討して参りますと記載しています。このことから今お話ししている、いつ上げるのかということも、例えば、来年の1月からということではなくて、ある程度年度を区切って、令和5年度から、もしくは令和6年度から、そこは様子を見ながらにした方がいいのではないかと、といった議論ができればと思っているところです。

委員 私も給食をいただいている子どもの保護者として、給食費がそろそろ上がりそうだという話を聞いていて、上がるのは覚悟していると肌で感じています。

子どもが食べる食事に関しては、十分であってほしいという母親としての願いがあります。国費で賄っている分が無くなり、市の予算でというのも分かりますが、それで十分でしょうか。十分である方が保護者としてはいいですが、値上げに賛成であり、上げるタイミングとしては、来年の4月からというのは有りではないかと思えます。

今までずっと足りなかったものをどうしようと先延ばしになって今になっていると思うので、3年毎の改定というのは必要ではないかと思えます。今後、上がる可能性の方が高いですが、下がった場合でも議論してもいいと思うので、3年毎というのは賛成です。

議長 ありがとうございます。では、まずは(1)の2の部分のところでも今、色々ご意見出ていますが、他の皆さんのご意見とか事務局の意見を踏まえて、ここでもう少し何かご意見はありますか。

(意見無し)

よろしいでしょうか。会長という立場ではありますが、皆さんのご意見を整理したいと思えます。

前回、事務局から提示されたもので皆さんの中では、給食費については保護者への負担を求める必要があるということになりましたが、市民生活全般に大きな影響を及ぼしているという現実もあるというお話だったと思えます。

その中で、前回の資料にもあり、本日、事務局からの説明がありましたが、すでに報道発表されている市民生活の支援に向けた市独自の印西市物

価高騰対策支援プロジェクトもありますので、時期については、例えば、令和5年の1月すぐではなく、適切な時期を見計らって実施していただきたい。

そうなりますと、当面の間、ある程度の公費負担も含めて検討していただき、適切に対応していただく形で、時期としてはもう止むなしという思いもありますが、その一方で、すぐにとということではない。もうすでにスクリレでも出されているように、少なくとも令和5年の3月までは保護者負担を上げないということによろしいですか。

委員 今年度3月までという意味ですか。そうすると、来年度以降のことは、また検討しなければなりません。

資料を保護者に出してあるのであれば、令和5年度以降というのも、これだと曖昧ではないでしょうか。

来年度のことについて今年度検討しなければいけないので、財源もあるのでしたら、令和6年度までは現状の給食費は上げないということ、むしろはっきりと打ち出しておいて、それ以降のことについては、値上げを検討するので承知いただきたいというように、ある程度見通しを持った形で示した方がいいのではないかと思います。

給食費の在り方について検討を進めておりますと書いてありますが、値上げとは書いてありません。引き続き値上げを検討していますが、令和6年度までは上げません、というように具体的に示した方が分かりやすいのではないかと思います。

議長 事務局お願いします。

事務局 今お話しがありましたこちらの資料につきましては、趣旨は新型コロナウイルス対策地方創生交付金を活用して、物価高騰の最中ですが、保護者の負担を上げずに引き続きおいしい給食を提供して参りますという趣旨でございました。

これを配信したのが10月の下旬であり、まだ本委員会で今後の学校給食費の在り方については審議中であったため、止むを得ず一番下のところがこのような書き口になってしまったものです。今後、本委員会で議論した結果を保護者の皆さまにお知らせするタイミングでは、より明確にした形でお知らせができるのではないかと考えているところです。

今、吉野会長から総括という形でご意見を頂戴しました。今日いただいたご意見は、まずは、千葉県の平均額を引用して令和2年度の印西市の適正な金額とするということで、前回の会議の中で妥当な金額としてご承知いただいているところです。

保護者負担の改定のタイミングについては、前回の会議と同様に今日も

色々なパターンの意見が出たのかと思います。例えば、令和5年度から給食費を値上げしても、保護者の皆さんはある程度了承してくれるのではないかと、もう覚悟している、という意見ですとか、市として今、物価高騰対策プロジェクトを実施していることや、昨今の物価の上がり方を見るとそれらを見極めながらも少し様子を見たほうがいいのではないかなど様々なご意見をいただきました。

ただ、保護者への負担を求めることに関しては、皆様の了承をいただいております。あとはいつ上げるか。その間、おいしい給食を提供し続けるために、市としてどのように対応していくべきか。それをひとつのキーワードとして公費負担という話もいただいたところです。

本日頂いた意見を基に、来年の2月頃に委員会の開催を予定しておりますので、それに向けて答申案を作らせていただき、ご審議をいただきたいと思っております。最終的な給食費改定の是非については、皆様からいただいた答申を踏まえて市長が判断することになりますので、これまでいただいた意見を市長へ報告しながら、ベストな方向を決定して参ります。

議 長 確認ですが、この場ではいつから値上げするかということではなく、様々な状況を総合的に踏まえて時期について考えていただき、あくまでも給食の質を落とさないように、それまで可能な限り公費負担のことを考えて対応していくということでみなさんよろしいですか。

(異議なし)

では、3にいきたいと思います。今後の適正な給食費の算出方法と、改定タイミングについて、その中の(1)適正な給食費の算出方法、(2)今後の給食費の改正タイミング・時期、とあります。これは事務局から例が出ましたので、委員の皆様からそれぞれご意見をいただいて、それを参考にするという形でよろしいですか。

(異議なし)

まず算出方法ですが、難しい部分もあるかと思いますが、このイメージとして、アイウエどれがいいかご意見いただければと思います。

委 員 私も〇〇委員同様、情勢に合わせるには、委員会の開催される時期も考慮し、3年毎に改定の時期を定めて定期的、計画的に見直していくのが良いと考え、ウの3年毎の見直しがいいのではないかと思います。

議 長 時期に関しては、3年毎がいいのではないかといいことですね。みなさん、時期の方が意見を言いやすいですか。算出方法がよく分からないですか。事務局お願いします。

事 務 局 (1)の適正な学校給食費の算出方法につきましては、今回皆様にお示

しました、まずは、ウの総務省が示す食料の物価指数の上昇率ですが、事務局にて3パターンで計算させていただいた結果でも、傾向としては総務省が示す食料の消費者物価指数の上昇率と似たような状況でした。今後はこの上昇率をベースにし、ただ、それだけで適正な金額といえるのかという部分もありますので、必要に応じて千葉県の平均値を加味しながら算出し、皆様で議論していただきたいと考えております。

(2)のタイミングですが、ウの3年毎ということで、事務局としても平成26年度からずっと給食費を改定してこなかったということで、その間、消費者物価指数が7.9%上昇しており、定期的に議論すべきではないかと考えています。そこで3年毎という期間を示させていただきました。ただし3年毎だと、その間に急激に消費者物価指数が変化したり、千葉県の平均額と大きく乖離したりということもあるかもしれません。このことからウの3年毎をベースにしながら、エとして必要に応じてその間でも議論させていただければと考えています。

議 長 整理をさせていただきます。まず(1)の算出方法ですが、アとイを合わせてウ、要するに国だけ見るのではなく千葉県だけで見るのではなく、両方とも見てそれでウという捉え方でよろしいでしょうか。

(異議なし)

では次、(2)タイミングですが、エが出ました。基本は一定期間毎ですが、その間に大きな乖離があった場合には、そこでまた検討し改正することによろしいでしょうか。

(事務局より「はい」との発言)

では、(2)について皆さんのご意見をいただきたいと思いますが、事務局は、ウをベースに、アやイがその間に入ってくる可能性があるとの考えでした。特に反対意見などはございませんか。

委 員 ウでいいのではないかと思います。印西市ではずっと改定について検討してこなかったのですから、ある程度時期を決めて、その間に多少上がったとしても、3年という短い期間であれば、その期間毎に改定するかどうかを検討するということがいいのではないかと思います。

委 員 3年とすると、1年目2年目でも見ていきながら、場合によりもっと早く、これからもっと物価の上げ幅が上がる可能性もあるという心配もありました。

ですが、2年目あたりでよく検討して、実際に改定するのは3年目になるとも思いながら、しかし事務局からあったように、急激に来たら大丈夫かという心配はあります。

議 長 事務局をお願いします。

事務局 9割方はウです。その間に委員会を開き、物価上昇や千葉県平均値の話
をしますので、委員からの3年も待てないのではないかという意見も踏ま
えながら対応していきたいと考えておりますがいかがでしょうか。

議 長 そもそも今まで見直しといったものが、どの年度という区切りが全くな
かったので、そこで示すという意味では大きいです。

では、委員の皆さんからいただいたご意見というところで、ここでは3
年と示していますが、それが適正かどうかも踏まえて、定期的に見直して
いくという形でお願いしたいと思います。

事務局 改定というのは、今は物価上昇が続いて値上がりというイメージが強い
ですが、物価が下がるような状況になれば、下げるということも選択肢に
出てくると思います。そういったことも考え、最低でも3年くらいは議論
し、その結果、給食費を変えなくてもいいのではないかということであれ
ば、6年間はその金額が継続になります。ただ、議論をするタイミングと
して期間を決めておくべきであったことを今回の反省点と認識していま
す。今お話しいただきましたように進めさせていただければと思います。

議 長 では、ただいま事務局から案が示されて、皆さんからご意見をいただき
ましたので、こちらにつきましては、案を決定事項としたいと思いますが
よろしいでしょうか。

(異議なし)

次に、議事の(2)令和5年度における学校給食の対応について、事務局
から説明をお願いします。

事務局 議事(2)令和5年度における学校給食の対応について説明

議 長 ありがとうございます。事務局の説明が終わりましたので質疑に入り
ます。何かご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いします。質問が
ないようですので、次に議事の(3)、その他についてですが、事務局より
何かございますか。

事務局 ございません。

委 員 資料1についてですが、2のところでは小学校の低学年と高学年の給食費
の差についてとあり、私は東京都の江戸川区に勤めているのですが、低中
高で350円ずつ差があります。例えば、1学級38人のクラスもあれば、

20人、24、5人のクラスもあります。

それと、小学校1年生と6年生では食べる量が全然違います。人数が違うところに同じ量を配れば残菜が出るのは当然です。給食センターでは、配膳の量は各学級の人数を見て配膳しているのか、一律に配膳しているかを聞きたいと思います。

また、低中高で食べる量が違うのであれば、その給食費について、今後の検討課題として審議していただきたいと思います。

議 長 大きく2点あったかと思います。まず一つが、学級の人数毎に食缶等の量の違いがあるのかということ。

また、前回も意見が出ていて、特に小学校だと思いますが、例えば低学年と高学年とで給食費に差をつけていくような検討について、今後どうなるかということかと思っています。

では、まずクラスごとの量についてお願いします。

事務局 量についてですが、各クラスの食缶毎にすべて釜割で人数毎に配分するよう量を設定し、各釜の食缶毎に計量し提供しています。低中高についても、3年生を基本として1年生は0.8にするなど、係数を掛けて配缶させていただいています。個数ものについても、低学年と高学年で違う量のものを提供するなどしています。

議 長 それに伴って、提供する量に応じた給食費についても考える必要があるのではないかというご意見ですが、今ここでは結論にはならないと思いますが、事務局の考えをお願いします。

事務局 量を学校給食費に反映させることにつきましては今、議論をいただいています給食費の改定に含めた中で、今後方向性を議論していきたいと思えます。

議 長 小学校の低学年や高学年の給食費については、今後議論していくということによろしいでしょうか。

事務局 補足ですが、次回の会議では、答申について整理をさせていただきたく、それがメインになりますので、〇〇委員からいただいた給食費への反映の部分については、次回ということではなく、今後の議題として引き続き議論させていただきたいということでご理解いただければと思います。

委員 東京は低中高で分かれています、千葉県の市町村では、小学校中学校で分けているか、低中高で分けているかどうかということも参考にしてい

ただきたいと思います。

事務局 市の状況もお話しできるような資料を添えて、またお話しができればと思っています。

議長 よろしくお願ひします。では議事についてはこれで終了してよろしいでしょうか。時間の方が少し押ししてしまいましたが、進行にご協力いただきありがとうございました。では、進行を事務局へお返しします。

事務局 5その他として、事務局より①今後のスケジュールについて、及び②報酬の振り込みについて説明

○閉会